

鹿教湯病院回復期リハビリテーション病棟に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年11月15日

「脳卒中患者における機能予後に関する疫学調査～多施設前向きコホート研究～」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	2024013
研究課題名	脳卒中患者における機能予後に関する疫学調査～多施設前向きコホート研究～
所属(診療科等)	鹿教湯病院 リハビリテーション部
所属責任者(職名)	須江慶太(理学療法士)
研究実施期間	研究委員会による許可日～2029年11月30日
研究の意義、目的	脳卒中に対するリハビリテーションの成果を明らかにすることを目的とした研究で、リハビリ内容の開発に貢献する研究と考えられます。
対象となる患者さん	回復期リハビリテーション病棟に入院する18歳以上の脳卒中(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血)患者さまを対象とします。
利用する診療記録／検体	収集情報は患者特性(年齢、性別、体格情報、合併症の数、同居者の有無、病前の生活機能と移動手段)、医学的因子(脳卒中の種類、損傷半球、損傷部位、手術の有無、血栓溶解療法の有無、離床開始時期、歩行開始時期、装具作製時期、療法士のリハビリ時間)、転帰情報(転帰先:自宅・施設・転院)とします。また入院時、発症90日、発症180日、ならびに退院時においては歩行能力(歩行速度や介助量)、日常生活動作能力、身体機能評価(全身状態や麻痺の程度など)も収集します。
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	暗号化された電子的配信により提供を受けます
研究方法	診療記録より上記の内容を収集し、退院先やその後の予後と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	信州大学医学部付属病院(責任者:山本周平)、松本市立病院(責任者:佐々木友紘)、佐久総合病院(責任者:四十万直樹)、相澤病院(責任者:小林雅之)、伊那中央病院(責任者:唐澤卓馬)、飯田市立病院(責任者:北林雄仁)、長野松代総合病院(責任者:島方菜摘)、長野中央病院(責任者:矢島知樹)、輝山会記念病院(責任者:青木郁弥)、篠ノ井総合病院(責任者:松葉侑樹)、佐久市立国保浅間病院(責任者:小林貴紀)、信州大学医学部保健学科(責任者:中村慶祐)、長野保健医療大学(責任者:佐藤剛章)

研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部保健学科 研究責任者:百瀬公人 電話:(0263)37-2836
問い合わせ先	氏名:須江慶太(鹿教湯病院 リハビリテーション部 理学療法士) 電話:(0268)44-2111

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。収集情報は匿名化(ID化)され、ロックのかかる媒体で管理されます。また発表後5年間保存した後に削除いたします。なお、本研究開始前に、鹿教湯病院の研究員会で倫理的な側面に問題がないか検討し、施設長から診療録を利用する許可を得た上で実施しております。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。